



联合国  
粮食及  
农业组织

FOOD AND  
AGRICULTURE  
ORGANIZATION  
OF THE  
UNITED NATIONS

ORGANISATION  
DES NATIONS  
UNIES POUR  
L'ALIMENTATION  
ET L'AGRICULTURE

ORGANIZACION  
DE LAS NACIONES  
UNIDAS PARA  
LA AGRICULTURA  
Y LA ALIMENTACION

منظمة  
الغذية  
والزراعة  
للأمم  
المتحدة

# Liaison Office in Japan

5F Yokohama International Organizations Center, Pacifico-Yokohama,  
1-1-1, Minato Mirai, Nishi-ku, Yokohama 220-0012, Japan

Tel. (045) 222-1101  
Facsimile: (045) 222-1103  
E-Mail Address: FAO-LOJA@FAO.ORG

F A O (国際連合食糧農業機関) 日本事務所  
2009年1月26日

LOJAPR09/02-No. 124

## プレスリリース

### 強力な行動がとられなければ更なる食料不足がおけると国連が警告

#### マドリッド会議は世界の食料、栄養および農業問題に取り組む

2009年1月26日、マドリッドー主要な国際機関の代表は26日、マドリッドで開催された全ての人への食料安全保障に関する会議の開会に当たり、飢餓と栄養失調に対するコミットメントを強化することを約束した。

この会議はスペイン政府主催、国連の共催で開催された。潘基文国連事務総長とスペインのロドリゲズ・サパテロ首相が27日の総会の共同議長を務める。

参加しているのは事務総長が主催する世界食料安全保障危機ハイレベルタスクフォースのメンバーである国連関係者、国際機関の代表で、シンクタンク、NGOや民間企業の代表も列席している。会議の目的は飢餓と食料安全保障の政治的な重要性を高め、新たなパートナーシップを構築するとともに、対応のための資金を増強することである。

「世界で栄養失調に苦しむ人は2008年に4000万人増加したと見込まれ、今日では9億6千300万人に達した」とタスクフォースの副議長でありFAO事務局長でもあるジャック・ディウフが開会式で述べた。「これが意味するところは、世界の人口65億のうち、今現在ほぼ10億の人がお腹をすかせているということだ」

FAO事務局長は、2050年までに食料生産を倍増し全ての人の食料への権利を確保するため、開発途上国の農業への年間300億ドルの投資を呼びかけている。

「私はこの会議を招集し、食料安全保障という極めて重大な問題に取り組もうというサパテロ首相の時宜にかなったイニシアティブを歓迎する」とレナート・ボーゲ国際農業開発基金(IFAD)総裁は述べた。

「価格は2008年のピークからは下落しているが、食料危機は過ぎ去ったわけではない。ほぼ10億の人が毎日お腹をすかせており、根底にある傾向は世界の農業生産が増加する需要に対応できていない事を表している。世界の4億5千万の小規模農民は、適切な支援と投資があれば生産性をあげ、何百万の貧しい農民家庭が貧困から脱することを可能にし、同時に世界に食料を供給する一助となることできる。世界的な農業と食料安全保障のパートナーシップが、小規模農家が適切な支援と投資を得ることを確保する助けになる」とボーゲ総裁は述べた。

「食料危機が昨年起こったとき、」とジョゼット・シーラン世界食糧計画(WFP)事務局長は述べた、「世界が一丸となって飢餓と栄養失調への人類史上最大の緊急対応を行った。今、金融危機が飢餓に苦しむ人を更に厳しい状況に追いつけている。我々は小規模農民と農業を助成すると同時に最も脆弱な人々の緊急の食料および栄養のニーズに答えるために、前例のない努力を継続しなければならない」

シーラン事務局長は、小規模農民および2千万人の学校給食プログラム支援児童を含む、ほぼ1億人の人々への食料、栄養補給支援、およびセーフティネット支援のためにWFPは2009年に52億ドルを必要としていると付け加えた。

「世界の貧しい人々にとってのリスクを過小評価してはならない」と世界銀行ンゴチ・オコンジョ＝イウェアラ専務理事は述べた。「食料価格は極めて不安定だ。何百万という人が栄養不良に苦しんでいる。我々はこの危機の間ずっと現場で現実問題と直面していた当該国の政府の経験から学ぶ必要がある。我々には解決方法とその結果はわかっている。しかし、一番脆弱な人が必要としている支援を得るためには、それらを拡充する資金が必要である」

全ての人への食料安全保障ハイレベル会議は、2008年6月のローマでの食料サミットを継承したものである。6月5日のローマ宣言では、181の国家およびECが食料価格高騰による苦しみを緩和すること、農業開発、食料および小規模農民の生産を促進すること、また食料へのアクセスおよび適切な栄養摂取の障壁問題に取り組むことを約束した。

英文URL : <http://www.fao.org/news/story/en/item/9904/icode/>